

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	NPO 法人活動支援講座兼ファンドレイジング講座協働事業	
事業の実施者	団体等	市民セクターよこはま・関内イノベーションイニシアティブ共同事業体 代表団体 特定非営利活動法人市民セクターよこはま
	行政	市民局 市民協働推進課
事業の目的	NPO 法人や市民活動団体を対象に、活動及び運営支援として、財政基盤の強化を図るためファンドレイジングの基礎知識の習得や、本市の活動支援制度の周知を目的に、NPO 法人活動支援講座兼ファンドレイジング講座を実施する。	
事業の内容	NPO 法人活動支援講座兼ファンドレイジング講座の企画立案 NPO 法人活動支援講座兼ファンドレイジング講座の開催 NPO 法人活動支援講座兼ファンドレイジング講座の広報 NPO 法人活動支援講座兼ファンドレイジング講座の Zoom 配信機材準備、 配信機材設営、配信協力 等	
役割及び責任 分担等	別添	
実施期間	令和 4 年 11 月 30 日 14:00~16:30	

記入日	令和 4 年 12 月 15 日
記入者	[団体等] ・団体等名： 市民セクターよこはま・関内イノベーションイニシアティブ共同事業体 代表団体 特定非営利活動法人市民セクターよこはま ・記入責任者 氏名： 伊吾田 善行 連絡先： 045-671-4732
	[行政] ・部署名： 市民局市民協働推進課 ・記入責任者 氏名： 岡本 今日子 連絡先： 045-671-4734

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	B	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	B	B
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業計画・実施 (協働して計画を立て、事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・NPO 法人の団体運営や支援について、横浜市市民協働推進センターの専門的な意見や知識と、行政的な視点からの考えなど、両者で意見交換しながら講座の内容を検討することで、より効果の高い事業とすることができた。 ・参加する団体に寄り添えるよう、どうすればファンドレイジングの基礎の学びや、組織基盤強化への気づきを引き出すことができるのか、相互に意見を出し合うことができた。 ・コロナ禍により、講座の開催方法がオンラインになったが、昨年度からの経験及び横浜市市民協働推進センターが保有しているオンライン講座のノウハウを活かす等、協働することで、事業実施することができた。 ・それぞれが持っている広報手段を活用することで、より多くの参加者を集めることができた。
【今後改善が必要と思われること】 ・全体の流れを早い時期に確定し、また市民協働推進課・横浜市市民協働推進センター・登壇者で進行について綿密に確認を取る必要がある。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・ファンドレイジングに取り組んだことがない団体が多い中、資金調達の基礎について学ぶことにより、自団体の目的や課題等を再確認し、今後新たな取り組みや、団体自ら資金調達について学んでいくためのきっかけになったと考えられる。 ・組織運営評価、ガバナンス体制について学び、今一度自団体を見直す機会になったと考えられる。
自由記入欄

(別紙)

役割及び責任分担等

事業項目	受託者の役割	委託者の役割
NPO 法人活動支援講座 兼ファンドレイジン グ講座の企画立案	1 講座の企画 2 登壇者の確認	1 講座の企画 2 登壇者の選定、連絡調整 3 受講申込フォーム作成及び受 講申込受付
NPO 法人活動支援講座 兼ファンドレイジン グ講座の開催	1 NPO 法人活動支援講座兼ファン ドレイジング講座の実施 2 NPO 法人活動支援講座兼ファン ドレイジング講座の Zoom 配信 機材準備・配信機材設営、配信 協力	1 NPO 法人活動支援講座兼ファン ドレイジング講座の実施・配信 2 NPO 法人活動支援講座兼ファン ドレイジング講座登壇者との 日程調整・謝金支払
事業広報	1 事業広報	1 事業広報 (本市媒体)
事業費	—	1 事業費負担 (全額)